

# 1. 商学研究科に関する事項

## ■博士前期課程

### <1>履修方法

#### 【2025年度以降の入学生】

##### (1) コースについて

商学研究科前期課程は、研究コース、ビジネスコースの2つのコースを置いています。

##### 1) 研究コース

研究者の養成、博士後期課程への進学、税法科目免除を目指す学生を想定したコースです。

なお、研究コースであっても、博士後期課程への進学を希望する場合は、別途入学試験に合格する必要がありますが、指導教授の推薦により入学試験の一部が免除される場合があります。

##### 2) ビジネスコース

高度職業人の育成を想定したコースです。

なお、ビジネスコースであっても、博士後期課程への進学を希望する場合は、別途入学試験に合格することで進学が可能ですが、提出論文の要件を満たす必要がありますので、詳細は Web サイト掲載の入学試験要項をご確認ください。

ビジネスコースの学生は、1年次末に正式な指導教授が決定されますが、それまでの間アカデミックアドバイザーが履修の相談や学修指導等を担当します。アカデミックアドバイザーの詳細は入学後改めてご案内します。

##### (2) 商学研究科博士前期課程・主分野について

商学研究科では、授与する学位に基づく研究教育体制のため、前期課程・後期課程一貫して講義科目を学位（博士課程）ごとに5つの分野（経営学、会計学、商業学、経済学、金融学）に分けています。

研究コースの入学者は、①経営学、②会計学、③商業学、④経済学、⑤金融学、以上5つの分野のうち、1つの分野を入学時に選択する必要があります。研究コースの新入生は全員、「指導教授届」（4月9日（木）締切）と共に、「主分野選択届」を提出してください。原則として、選択した分野は変更することができません。

ビジネスコースの新入生はアカデミックアドバイザーと相談の上、「指導教授届」（4月9日（木）締切）を提出してください。「主分野選択届」の提出は不要です。

##### (3) 科目の履修および修了に必要な単位数について

##### 1) 修了に必要な単位数について

研究コース・ビジネスコース共に、修了するためには32単位の修得が必要になります。

##### 2) 研究コースにおける必修科目・単位数について

①セミナー系科目（「基礎セミナー」または「研究セミナーⅠ・Ⅱ」）から、2単位を選択必修とします。

⇒「基礎セミナー」は4、「研究セミナーⅠ・Ⅱ」は5を参照。

②講義科目（別表）から、主分野の科目6単位を選択必修とします。

③演習科目から、指導教授が担当する「演習Ⅰ・Ⅱ」を8単位必修、指導教授以外が担当する「演習Ⅰ・Ⅱ」から4単位を選択必修とします。なお、指導教授以外の演習については、商学研究科設置の演習に限定します。

⇒「演習」については、7) および8) を参照。

④上記のほか、商学研究科または他研究科もしくは交流・協力校に設置されている科目の中から12単位以上を履修して、32単位以上の単位を修得してください。

⇒商学研究科以外の科目の履修については10) を参照。

##### 3) ビジネスコースにおける必修科目・単位数について

①セミナー系科目（「基礎セミナー」または「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」）から、6単位を選択必修とします。

⇒「基礎セミナー」は4)、「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」は6)を参照。

②講義科目(別表)から、6単位を選択必修とします。

③演習科目から、指導教授が担当する「演習Ⅱ」を4単位必修とします。

⇒「演習」については、7)および8)を参照。

④上記のほか、商学研究科または他研究科もしくは交流・協力校に設置されている科目の中から16単位以上を履修して、32単位以上の単位を修得してください。

⇒商学研究科以外の科目の履修については10)を参照。

#### 4) 「基礎セミナー」の履修について

5つの分野に設置されている「基礎セミナー」(研究コース・ビジネスコース共通)は、当該分野の研究課題の発見や研究方法の選択などに関する示唆を与え、修士論文の課題設定などに資する科目です。

まず主分野について履修することを推奨しますが、主分野以外の「基礎セミナー」を履修することも可能です。修得した単位は、修了に必要な32単位に含めることができます。

#### 5) 「研究セミナーⅠ・Ⅱ」の履修について

研究セミナーは、経営、会計、商業、経済、金融などの幅広い分野を対象として、理論と実証の両面から研究報告と議論を通じて、発表の仕方、ディスカッション能力、そしてプレゼンテーション能力の習得も目指す科目です。

「研究セミナーⅠ・Ⅱ」は研究コース向けの科目ですが、ビジネスコースの学生も履修することができます。ビジネスコースの学生の場合、修得した単位は、コースの「セミナー系科目」6単位の要件を満たすことはできませんが、商学研究科修了要件32単位に含めることができます。

#### 6) 「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」の履修について

ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱは、本研究科所属の教員と学外の実務家・研究者がコラボレーションすることにより、科目実務能力を養成する科目です。

「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」はビジネスコース向けの科目ですが、研究コースの学生も履修することができます。研究コースの学生の場合、修得した単位は、コースの「セミナー系科目」2単位の要件を満たすことはできませんが、商学研究科修了要件32単位に含めることができます。

#### 7) 「演習Ⅰ・Ⅱ」の履修年次について

研究コースの学生について、「演習Ⅰ」は1年次に、「演習Ⅱ」は2年次に履修し、講義科目は1年次、2年次を通じて所定の開講学期に履修することになります。なお、ビジネスコースの学生は、1年次「演習Ⅰ」は履修不可、2年次に「演習Ⅱ」のみ履修することになります。

#### 8) 「演習Ⅰ・Ⅱ」の修得上限単位数について

指導教員以外の教員から研究指導を受けるため、指導教員の指導の下で、他の教員の担当する「演習Ⅰ・Ⅱ」を20単位まで履修することが可能です。なお、指導教員以外の「演習Ⅰ・Ⅱ」を履修する場合、それぞれの担当教員は同じであっても異なっても構いません。

#### 9) 入学前の大学院における既修得単位と入学後の留学または交流・協力校における授業科目の認定単位上限について

教育上有益と認めるときは、入学する前に大学院(外国の大学院を含む。)において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。以下、「既修得単位」という。)を、15単位を超えない範囲で商学研究科における授業科目の履修により修得したものとみなし、修了要件32単位に含めることができます。

また、同じく教育上有益と認めるときは、留学または交流・協力校との特別聴講(単位互換)により修得した単位を、合わせて15単位を超えない範囲で商学研究科における授業科目の履修により修得したものとみなし、修了要件32単位に含めることができます。

ただし、既修得単位、留学、交流・協力校との特別聴講(単位互換)により修得したものとみなすことができる単位数は、合わせて20単位までとなります。

#### 10) 他研究科の授業科目の修了単位への参入について

他研究科の授業科目(講義科目・演習科目)については、指導教授の指導の下で、8単位を上限に履修することができ、商学研究科の修了要件32単位に含めることができます。

11) 同一教員担当の同一名称科目の履修について

授業科目の履修に際しては、同一教員が担当する同一科目の単位を重複して修得することはできません。

【商学研究科研究教育体系概念図】

博士 後期 課程	<b>博士学位取得</b>				
	経営学	会計学	商学	経済学	金融学
	※ 博士 研究指導を含む 事前 指導を論文 主分野の特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲから12単位必修 指導教授以外が担当する特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ または研究セミナーⅢ・Ⅳから2単位必修 (修了要件14単位)				
	経営学	会計学	商学	経済学	金融学
	研究セミナーⅢ・Ⅳ				
博士 前期 課程	<b>修士学位取得</b>				
	商学				
	修論提出		特定課題研究提出		
	<b>演習科目(12単位必修)</b>		<b>演習科目(4単位必修)</b>		
	指導教授が担当する演習Ⅰ・Ⅱを8単位必修 指導教授以外が担当する演習Ⅰ・Ⅱから4単位必修		指導教授が担当する演習Ⅱから4単位必修		
			<b>BPW</b>		
			ビジネス・プラクティカル・ワークショップ(BPW)(4単位)		
	<b>講義科目(専門) (主分野6単位選択必修)</b>		<b>講義科目(専門) (6単位選択必修)</b>		
	経営学	会計学	商業学	経済学	金融学
	分野共通科目(特殊講義)		分野共通科目(特殊講義)		
<b>セミナー系科目(2単位選択必修)</b>		<b>セミナー系科目(6単位選択必修)</b>			
研究セミナーⅠ・Ⅱ 基礎セミナー(経営学/会計学/商業学/経済学/金融学)		ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ 基礎セミナー(経営学/会計学/商業学/経済学/金融学) *4単位必修			
[研究コース] (修了要件32単位)		[ビジネスコース] (修了要件32単位)			

## 【2024 年度以前の入学生】

### (1) コースについて

商学研究科前期課程は、研究コース、ビジネスコースの 2 つのコースを置いています。コースは入学試験出願時に選択したもから変更することはできません。

#### 1) 研究コース

研究者の養成、博士後期課程への進学を想定したコースです。

なお、研究コースであっても、博士後期課程への進学を希望する場合は、別途入学試験に合格することが必要ですが、指導教授の推薦により入学試験の一部が免除される場合があります。

#### 2) ビジネスコース

専門的資格の取得、高度職業人の育成を想定したコースです。

なお、ビジネスコースであっても、博士後期課程への進学を希望する場合は、別途入学試験に合格することで進学が可能です。修士論文に関する注意点があります。

⇒詳細は<2>修士論文 (1) 提出までの過程について (19 頁) 参照。

### (2) 商学研究科博士前期課程・主分野について

商学研究科では、授与する学位に基づく研究教育体制のため、前期課程・後期課程一貫して講義科目を学位(博士課程)ごとに5つの分野(経営学、会計学、商業学、経済学、金融学)に分けています。

2021 年度以降の入学者は、①経営学、②会計学、③商業学、④経済学、⑤金融学、以上5つの分野のうち、1つの分野を入学時に選択する必要があります。

新入生は全員、「指導教授届」(4月9日(木)締切)と共に、「主分野選択届」を提出してください。主分野の選択にあたっては、自身の研究計画について指導教授とよく相談の上、自身の修了後の希望進路に鑑み、適切な分野を選択してください。原則として、選択した分野は変更することができません。

### (3) 科目の履修および修了に必要な単位数について

#### 1) 修了に必要な単位数について

研究コース・ビジネスコース共に、修了するためには32単位の修得が必要になります。

#### 2) 研究コースにおける必修科目・単位数について

①セミナー系科目(「基礎セミナー」または「研究セミナーⅠ・Ⅱ」)から、2単位を選択必修とします。

⇒「基礎セミナー」は4)、「研究セミナーⅠ・Ⅱ」は5)を参照。

②講義科目(別表)から、主分野の科目6単位を選択必修とします。

③演習科目から、指導教授が担当する「演習Ⅰ・Ⅱ」を8単位必修、指導教授以外が担当する「演習Ⅰ・Ⅱ」から4単位を選択必修とします。なお、指導教授以外の演習については、商学研究科設置の演習に限定します。

⇒「演習」については、7)および8)を参照。

④上記のほか、商学研究科または他研究科もしくは交流・協力校に設置されている科目の中から12単位以上を履修して、32単位以上の単位を修得してください。

⇒商学研究科以外の科目の履修については10)を参照。

#### 3) ビジネスコースにおける必修科目・単位数について

①セミナー系科目(「基礎セミナー」または「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」)から、2単位を選択必修とします。

⇒「基礎セミナー」は4)、「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」は6)を参照。

②講義科目(別表)から、主分野の科目6単位を選択必修とします。

③演習科目から、指導教授が担当する「演習Ⅰ・Ⅱ」を8単位必修とします。

⇒「演習」については、7)および8)を参照。

④上記のほか、商学研究科または他研究科もしくは交流・協力校に設置されている科目の中から16単位以上を履修して、32単位以上の単位を修得してください。

⇒商学研究科以外の科目の履修については10)を参照。

#### 4) 「基礎セミナー」の履修について

5つの分野に設置されている「基礎セミナー」（研究コース・ビジネスコース共通）は、当該分野の研究課題の発見や研究方法の選択などに関する示唆を与え、修士論文の課題設定などに資する科目です。

まず主分野について履修することを推奨しますが、主分野以外の「基礎セミナー」を履修することも可能です。修得した単位は、4単位を上限に修了に必要な32単位に含めることができます。

#### 5) 「研究セミナーⅠ・Ⅱ」の履修について

研究セミナーは、経営、会計、商業、経済、金融などの幅広い分野を対象として、理論と実証の両面から研究報告と議論を通じて、発表の仕方、ディスカッション能力、そしてプレゼンテーション能力の習得も目指す科目です。

「研究セミナーⅠ・Ⅱ」は研究コース向けの科目ですが、ビジネスコースの学生も履修することができます。ビジネスコースの学生の場合、修得した単位は、コースの「セミナー系科目」2単位の要件を満たすことはできませんが、商学研究科修了要件32単位に含めることができます。

#### 6) 「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」の履修について

ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱは、本研究科所属の教員と学外の実務家・研究者がコラボレーションすることにより、科目実務能力を養成する科目です。

「ビジネス・プラクティカル・セミナーⅠ・Ⅱ」はビジネスコース向けの科目ですが、研究コースの学生も履修することができます。研究コースの学生の場合、修得した単位は、コースの「セミナー系科目」2単位の要件を満たすことはできませんが、商学研究科修了要件32単位に含めることができます。

なお、2021年度入学生は「ビジネス・プラクティカル・セミナー」です。

#### 7) 「演習Ⅰ・Ⅱ」の履修年次について

「演習Ⅰ」は1年次に、「演習Ⅱ」は2年次に履修し、講義科目は1年次、2年次を通じて所定の開講学期に履修することになります。

#### 8) 「演習Ⅰ・Ⅱ」の修得上限単位数について

指導教員以外の教員から研究指導を受けるため、指導教員の指導の下で、他の教員の担当する「演習Ⅰ・Ⅱ」を20単位まで履修することが可能です。なお、指導教員以外の「演習Ⅰ・Ⅱ」を履修する場合、それぞれの担当教員は同じであっても異なっても構いません。

#### 9) 入学前の大学院における既修得単位と入学後の留学または交流・協力校における授業科目の認定単位上限について

教育上有益と認めるときは、入学する前に大学院（外国の大学院を含む。）において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。以下、「既修得単位」という。）を、15単位を超えない範囲で商学研究科における授業科目の履修により修得したものとみなし、修了要件32単位に含めることができます。

また、同じく教育上有益と認めるときは、留学または交流・協力校との特別聴講（単位互換）により修得した単位を、合わせて15単位を超えない範囲で商学研究科における授業科目の履修により修得したものとみなし、修了要件32単位に含めることができます。

ただし、既修得単位、留学、交流・協力校との特別聴講（単位互換）により修得したものとみなすことができる単位数は、合わせて20単位までとなります。

#### 10) 他研究科の授業科目の修了単位への参入について

他研究科の授業科目（講義科目・演習科目）については、指導教授の指導の下で、8単位を上限に履修することができ、商学研究科の修了要件32単位に含めることができます。

#### 11) 同一教員担当の同一名称科目の履修について

授業科目の履修に際しては、同一教員が担当する同一科目の単位を重複して修得することはできません。

## 【商学研究科 研究教育体系概念図】



\*2021年度入学生は「ビジネス・プラクティカル・セミナー」です。

## <2> 修士論文・特定課題研究

### (1) 修士論文提出までの過程について

修士論文の作成・提出にあたり、以下の過程を必ず経てください。なお、ビジネスコースについては、修士論文に代わる「特定の課題についての研究の成果」(特定課題研究)の提出が必須です。詳細は、(2) 特定課題研究提出までの過程についてを参照してください。

#### 1) 研究計画書の提出

次年度の研究計画を、期日までに提出いただきます。提出された計画を基に、指導教授が次年度の履修計画や修士論文副査の選出を行います。詳細は11月頃Cplusにてお知らせしますので、必ず確認の上、期日までに提出してください。

対象者：博士前期課程次年度修了予定者

提出期日：1月～2月初旬

#### 2) 修士論文題名届の提出

提出方法は、4月末までにCplusにてお知らせします。なお、提出にあたり、指導教授の確認が必要になります。

対象者：博士前期課程2年次生以上全員

(1年修了予定者および在学期間を延長する人も含む)

提出締切：5月30日(土)

#### 3) 修士論文中間報告会

研究計画に基づく研究の進捗状況や修士論文の執筆状況を確認することを目的として、公開の中間報告会を行います。中間報告を行わないと修了できませんので、注意してください。

対象者：当該年度修了予定者(1年修了を目指す者も含む)

開催日：7月末～9月中旬

※詳細については、7月上旬までにCplusに掲出しますので、必ず確認してください。

## (2) 特定課題研究提出までの過程について

ビジネスコースの学生は、特定課題研究の作成・提出にあたり、以下の過程を必ず経てください。詳細の期日等は別途 Cplus にてお知らせします。

### 1) 希望指導教授の申請（12月上旬）

第一希望～第五希望指導教授（1分野2名・3分野まで）まで記入し、所定の期日までに「希望指導教授申請書」を提出してください。

### 2) 指導教授の決定（1月下旬）

研究科委員会にて決定した指導教授を Cplus 等で通知いたしますので、ご確認ください。

### 3) 指導教授の決定・概要の作成・提出（2月～4月）

正式に決定した指導教授のもと、適切な指導を受けたうえで、テーマ（課題）を決定してください。また、特定課題研究の概要を作成し、提出してください。詳細は別途 Cplus にてお知らせしますので、必ず確認の上、期日までに提出してください。

### 4) 特定課題研究の執筆計画書・題名届の提出（修了予定年度の9月上旬）

2)で設定した課題の研究に取り組み、指導教授の指導のもと、特定課題研究執筆計画書・題名届を作成して、提出してください。詳細は別途 Cplus にてお知らせしますので、必ず確認の上、期日までに提出してください。

## (3) 修士論文・特定課題研究の提出日について

提出期限までに、完成した論文を提出してください。

提出期限：1月8日（金）17時厳守

提出物：論文1部（A4版・字数指定なし）、論文要旨（2,000字程度）1部

提出場所：manaba

※提出期限以降の提出は一切受け付けません。

※提出方法については、Webサイト「文系大学院掲示板」（学位（修士））に掲出しますので、必ず確認してください。

## (4) 審査について

主査・副査による論文審査が行われた後、最終試験（口述試験）を行います。最終試験に欠席した場合、2026年度に修了することはできません。

最終試験：2月4日（木）

※審査基準については、42頁をご確認ください。